

平成３０年度 野田市自転車等駐車場指定管理者管理運営状況調書
担当課 市民生活課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①市民の平等利用の取組	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①利用促進への取組	B	B	
	②サービス向上のための取組状況	B	B	
	③設置目的を効果的に達成する自主事業の提案	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護への取組	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されていること	①施設の安全管理の取組	B	B	
	②緊急時の危機管理の取組	B	B	
	③利用者の要望、苦情への取組	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取扱い	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して地元業者へ配慮すること	①地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①人員配置について	B	B	
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組状況	B	B	

総合所見

野田市自転車等駐車場指定管理者として、通算 9 年の間、継続して安定した施設管理及び利用者へのサービスを実施していただいているところです。

自社の危機管理マニュアルで利用者の安全確保を最優先に掲げ、野田市震度 5 弱以上の地震対応について、作成した緊急連絡網により迅速な被害状況報告がされており、施設の管理運営が適正に行われています。また、震度 5 弱未満であっても、適宜施設確認が行われております。

課題となっている梅郷駅東口市営自転車等駐車場の利用率の低迷については、利用率の大幅な伸びはありませんが、29 年度より利用者が増加しております。利用率向上の対策として啓発活動を行っており、梅郷駅を利用している通勤、通学者を対象に、南部工場連絡協議会会員の各企業や県立野田看護専門学校の職員及び生徒へ、駐輪場の PR 活動等を実施しているというものです。さらに、29 年 4 月から自主事業のレンタサイクル事業を開始し、引き続き駐輪場の利用促進と利用率向上に努めております。

管理経費の縮減については、29 年度に引き続き梅郷駅東口市営自転車等駐車場の照明を従来の蛍光灯から LED 管に交換して節電効果を図っているほか、エコクリスタルの使用によるエコ資源の活用も行っており、利用者の安全確保及び将来的な経費節減に努めているものと評しています。

会社としても、平成 29 年度損益計算書によると、約 5,080 万円の黒字を計上していることから、経営基盤が安定しており、引き続き事業計画に沿った管理を行う能力を有しているとみており、現状においても概ね事業計画どおりの管理運営を行っているものと判断しております。